

# 「消防団の力向上モデル事業」 事業紹介

事業名 消防団員確保・拡充事業

自治体名

岡山県

消防団名

## 1 事業の目的・必要性

消防団員の確保・拡充を図るためには、女性や若者などの多様な人材を活用していく必要がある。

これらのターゲット層に消防団の活動内容を正しく普及し、興味を持ってもらうことを目標に事業を実施した。

## 2 事業内容

・サッカーJリーグのファジアーノ岡山のホームゲームにおいて、消防団の協力を受け、スタジアム周辺に消防団PRブースを出展し、心肺蘇生法の体験、消防車両の展示を行うとともに、リーフレット等啓発物品の配布、消防団に関するアンケートを実施した。

・県内の女性消防団員とファジアーノ岡山の選手が出演する消防団員募集動画を制作した。制作した動画は、同ホームゲームのハーフタイムに大型ビジョンで放映を行うとともに大型商業施設イオンモール岡山の館内外のモニターにて4週間放映をした。

・バレーボールVリーグの岡山シーガルズのホームゲームにおいて、消防団及び消防局の協力を受け、アリーナ周辺に消防団PRブースを出展し、消防音楽隊・カラーガード隊によるパフォーマンスや、消防車両展示を行うとともに、リーフレット等啓発物品の配布、消防服の装着体験、消防団に関するアンケートの実施、顔はめ看板の設置を行った。また、アリーナ内において観客に対して、県消防団担当者から観客に対して、直接消防団についてのPRを行った。

## 3 事業成果

〈ファジアーノ岡山〉

- ・PR当日の試合入場者数8,985人
- ・消防団PRブースでは、消防車両の展示や心肺蘇生法体験を実施することで多くの来場者が消防に親しめる機会となった。
- ・啓発資材(リーフレット、啓発グッズ等)の配布、ハーフタイムにおける大型ビジョンでの県内女性消防団員とファジアーノ岡山の選手が出演する消防団員募集動画の放映により、来場者・入場者に消防団を直接PRすることができた。
- ・消防団PRブースにおいて来場者アンケートを実施し、消防団に対するイメージや団員を増やすための取組等について参考となる意見を聞くことができた。

〈岡山シーガルズ〉

- ・PR当日の試合入場者数約1,200人
- ・PRブースでは、消防車両の展示や顔はめ看板の設置、子どもの消防服装着体験を実施することで来場者が家族で消防に親しめる機会となった。
- ・試合前にコート内で消防団についてアナウンスを行い、観戦者に消防団を直接PRすることができた。
- ・消防団PRブースにおいて来場者アンケートを実施し、消防団に対するイメージや団員を増やすための取組等について参考となる意見を聞くことができた。

## 4 目標達成状況

指標	単位	目標値	実績値
動画作成	本数	1本	1本
スタジアム内大型ビジョンでの放映	放映期間	1回	1回
消防団PRブース来場者(ファジアーノ)	人	500人	428人
消防団PRブース来場者(シーガルズ)	人	200人	197人
イオンモール岡山の館内外でのPR動画の放映	放映期間	4週間	4週間

